

令和5年度一般社団法人鳥取市観光コンベンション協会事業計画

I 令和5年度事業方針

新型コロナウイルスの感染拡大により、協会の事業は変更を余儀なくされておりました。政府の新型コロナウイルス感染対策の緩和を受けて、本年度の観光・物産の各事業は、ウィズコロナを意識しながら、通常どおり実施できるよう取り組みます。

観光事業では、コロナ禍の地域内観光客をターゲットにしたマイクロツーリズムを転換し、インバウンド向けの事業等、県外客をターゲットにした日帰りバスツアーや着地型旅行商品の開発へ取り組み、誘客促進に努めます。さらに、鳥取城跡周辺の賑わいづくりのため関連団体と連携して賑わいイベント等を実施します。

物産事業では、地元物産の販売促進のため鳥取市ふるさと物産館で販売企画の実施、県外イベントに積極的に出店、大手スーパーの県外店舗で地元物産を販売等に取り組みます。

これらの事業を着実にを行い、より地域に必要とされる組織になるため、協会の価値向上及び組織力強化に全力で取り組みます。

1 価値向上

(1) 麒麟のまち圏域への貢献による協会価値向上

麒麟のまち圏域における協会の役割を掘り下げるため、麒麟のまち観光局との連携を今まで以上に強化します。また、物産振興はホームページと同様圏域を対象とし、圏域に貢献するとともに、結果、鳥取市の物産振興に寄与します。

(2) 観光案内の役割強化による協会価値向上

鳥取市全域の観光案内に対する役割と責任を自覚し、行動します。駅の観光案内所と国際観光客サポートセンターの連携を行い、インバウンドを意識した運営を行います。また、圏域の観光案内を今まで以上に検討します。

(3) 鳥取城跡事業の関係者連携強化とそれぞれの事業価値向上への貢献による協会価値向上

さまざまな関係団体がそれぞれに行う事業の連携を中心となって行い、鳥取城跡復元加速や中心市街地活性化等より広く効果が生まれるよう努力します。また、城跡事業の今後の在り方を議論し、行政へ提言するよう取り組みます。

(4) 事務局運営事業に対する連携強化による協会価値向上

鳥取しゃんしゃん祭、鳥取三十二万石お城まつり、鳥取市観光大学等事務局を受け持つ事業に対して、より地域に貢献できる事業となるよう積極的に支援します。

(5) 物産事業者への積極的支援による協会価値向上

とっとり市出店事業者や物産事業者に対し、今まで以上に関わりを増やし、サポートできる体制を整え、支援に努めます。

(6) 行政提言を適切な時期に行うことで協会の価値向上

次年度の予算要求のタイミングで事業実施者としての意見集約を確実にを行い、行政提言が必要なものは提言をすることで、次年度以降の事業価値向上を図ります。

(7) 協会運営資金確保による協会価値向上

中期的に健全な組織運営を行うため、公益性が高く且つ人件費等獲得できる新規事業

獲得を視野に入れた組織運営を行います。

2 組織力向上

(1) 会員との関係強化による組織力向上

会員との意見交換等を積極的に行い、今まで以上に双方向の協会運営を行います。
会員が必要とする説明会や講演会等ニーズを確認し、開催します。

(2) 理事と職員の関係強化による組織力向上

会員の代表である理事がそれぞれの事業価値向上に関われるよう組織運営を行います。

(3) 職員のスキルアップと待遇改善による組織力向上

組織が目指す方向、その中で関わる業務において、計画的にそれに適した研修や経験機会を確保し、職員のスキルアップに努めます。

また、同一労働同一賃金の観点及び今後の人財育成の観点から、財政見通しを把握した上で職員の待遇改善を行います。

II 事業計画

【企画造成・地域活性化】

目的と概要

観光需要の回復を見据え、地域内外からの観光客の満足度向上のため、良質な地域の文化や景観や産物などを生かした企画や提供に努める。そして、麒麟のまち観光局をはじめとする観光関連団体と連携し、明確な役割分担を行い、ターゲットを絞り観光商品の磨き上げや新たな商品造成を行う。このほか、麒麟のまち観光局とは定例の麒麟のまちエリア事務局長会議等により、相互協力を行う。

(1) Gバスの運行と検証

県外からの誘客を目的とし、鳥取を代表する観光スポットと、地域の観光や物産をつなぐツールとして造成し、WEBでの情報発信やチラシの配架などを利用して集客につとめる。令和5年度は「山陰海岸ジオパーク」と「日本遺産」をテーマに絞り、参加者からの満足を獲得できるツアーを企画する。また、参加者や関係団体からの聞き取り、アンケート等により令和6年度の運行に繋げる。

＜鳥取県東部の観光地を巡る鳥取・因幡「Gバス」の運行内容＞

料金：ジオコース・日本遺産コース 大人6,000円、小中高生4,000円

コース	行程	運行回数
ジオコース	鳥取砂丘、砂の美術館、かろいち、白兔神社、浦富海岸島めぐり遊覧船を巡るコース	6月から10月の土曜日に運行（計12回）
日本遺産コース （麒麟獅子舞・北前船）	鳥取砂丘、砂の美術館、賀露神社、賀露港、仁風閣・鳥取城跡、石谷家住宅を巡るコース	6月から11月の土曜日に運行（計6回）

(2) まちなか観光（城跡周辺賑わいづくり）事業に関する企画造成

事業の継続と発展を考えながら取り組む。お城まつりや関連する団体との連携し事業の効果拡大に努める。観光消費を高めるため、定期的な賑わいイベントを実施するなど、できる限り早い段階でプロモーションを行い、県外客誘致を図る。

(3) 地域（東・南・西）を巡るコースの商品開発

合併地域（東・南・西）を巡るコースをリクエスト対応で造成し、鳥取市観光サイト内で販売する。

(4) ループ麒麟獅子バスの運行と検証

二次交通の価値を高めるため、乗降客調査アンケート（回答者の中から地元物産プレゼントなど）を実施、利便性向上に関する検討を関係機関と行う。運行ルートと乗車特典を合わせた時刻表の作成（日本語版、英語版）、鳥取市観光サイトでのループ麒麟獅子バスを利用したモデルコース掲載で利用促進を図る。

＜鳥取観光バス「ループ麒麟獅子バス」の運行概要＞

運行日：土・日・祝（元日を除く）・振替休日・お盆（8/13～15）に運行

料金：大人300円、小人150円、一日乗車券600円

コース：鳥取駅、鳥取城跡、鳥取砂丘、賀露等を周遊

その他：車内無料Wi-Fi利用、PayPay・LINE Pay・Alipayでの支払い

交通系電子マネー導入の検討

(5) レンタサイクルによるまちなか観光

鳥取駅高架下第2自転車駐車場で普通自転車及び電動アシスト自転車の貸出を行う。レンタサイクルはまちなか観光の有力交通手段であることから、令和5年度は案内マップにレンタサイクルを活用した中心市街地周辺（国府町）エリアを新たに追加し、観光客の利用促進を図る。

（6）観光ガイドへの支援

ガイドの抱える課題を整理し、行政と共有及び対策を行い、また同じエリアでのガイド団体の連携を図る。

＜具体的な内容＞

- ア 各ガイド団体への助成および情報発信
 - 観光ガイド団体への保険加入やガイドに必要な資材等への助成
 - WEBでのガイド団体の活動紹介および実施するイベント等への情報発信
- イ ガイド研修会の開催
 - 鳥取市外で活動しているガイド団体との意見交換会等を実施
- ウ 存続危機に直しているガイド団体のガイド技術の記録動画の制作

（7）観光メニュー作成

国、県等の補助金等を活用した新規事業に取り組む。取り組むにあたっては、協会会員や観光に関する諸団体と連携して新たな観光メニューの作成に努める。

（8）物産振興に寄与するメニュー作成

観光商品の造成にあたっては、物産振興に寄与するメニューの作成に取り組む。

（9）フォトコンテスト開催と写真素材の活用

地域の風景や文化の素材開発を活かすためにフォトコンテストを実施し、応募作品を今後の企画造成や広報活動に活用する。さらに収集した素材は「とりフォト写真館」写真共有サイトへ登録し、運用する。

＜フォトコンテストの内容＞

- 応募期間：令和5年4月1日から令和6年1月31日まで
- 審査対象写真：令和5年1月1日から令和6年1月31日の間に撮影されたもの
- テーマ：魅力あふれる鳥取市
- 賞：最優秀賞1点 30,000円
 - 優秀賞1点 20,000円
 - 会長賞1点 10,000円
 - 鳥取市経済観光部長賞1点 鳥取和牛ステーキ（10,000円相当）
 - 審査員特別賞1点 鳥取市特産品詰合せ（10,000円相当）
 - 佳作1点 鳥取県産米（5,000円相当）

（10）地域活性化事業

合併協定に基づいて地域の事業へ助成する。助成対象事業は、次のとおりとする。

- ・宝木海岸施設整備事業（気高町観光協会）
- ・鹿野桜祭りモルタルアート事業（鹿野桜まつり実行委員会）
- ・伝統行事の伝承事業（北村老人クラブ）
- ・国府フィッシングフェスタ（国府フィッシングフェスタ実行委員会）
- ・雨滝滝開き祭、扇ノ山山開き祭（国府町観光協会）
- ・吉岡温泉ホテルまつり事業（吉岡温泉ホテルまつり実行委員会）

- ・ 賀露白いか祭り（賀露白いか祭り実行委員会）
- ・ 鳥取市河原町あゆ祭宣伝事業（あゆ祭企画実行委員会）
- ・ 福部町梨狩りキャンペーン事業（浜湯山果実組合）
- ・ 砂丘ビーチ砂もり大会（砂丘ビーチ砂もり大会&砂像コンテスト実行委員会）
- ・ 伝統行事の伝承活動事業（片山老人クラブ御子岩会）
- ・ 青谷町観光ガイドマップ制作（青谷町観光協会）

（11）鳥取市観光大学の運営

鳥取市観光大学のカリキュラムの充実とともに、鳥取観光マイスターの資格取得者を増やし、地域をあげての観光客のおもてなし文化の醸成に努める。また、鳥取観光マイスター対象に最新の観光情報を得ることができるブラッシュアップ研修を行う。

（12）鳥取しゃんしゃん祭・鳥取三十二万石お城まつり事業

鳥取しゃんしゃん祭は、4年ぶりに中心市街地で、前夜祭を8月13日、一斉傘踊りを8月14日に開催する。また、鳥取三十二万石お城まつりは9月24日に時代行列、火縄銃鉄砲隊演武披露などを中心市街地で開催し、それぞれの祭りに協力する。

（13）地域活性化賑わいづくり事業

桜の開花にあわせて鳥取城跡・久松公園および袋川土手へのぼんぼり・照明点灯を行い、WEBでの情報発信で誘客を図る。

【広報活動】

目的と概要

旅行会社向けと観光客向けに効果的な広報活動に取り組むとともに事業内容を検証する。また、関連組織と連携した誘致・誘客活動を積極的に行う。他団体と重複している業務を把握し、効果的な広報となるよう検証する。

（1）B to B営業

関西圏等の観光プロモーターと連携して、県外の旅行会社等への営業や鳥取県観光情報説明会への出席など、協会の旅行商品や会員の商品の紹介を行う。

（2）コンベンション開催支援

鳥取市内で開催される中国大会以上のコンベンション、スポーツ大会の開催に対して、開催経費の一部を助成する。鳥取市内に宿泊して合宿する団体に対して、経費の一部を助成する。

また、とっとりコンベンションビューローと連携し、大学等へ定期的な営業活動を行い、コンベンション開催誘致への研究及び発信を行う。

（3）WEBでの情報発信

順調にアクセス数が増加している協会ホームページ（鳥取市観光サイト）やSNS（Facebook、Instagram、Twitter）を活用し、企画造成した観光メニューや、物産振興課と連携した鳥取市観光サイトの特集ページやモデルコースを発信する。また、鳥取砂丘特設サイトを充実させる。

（4）ポスター・パンフレットによる広報

鳥取旅時間、鳥取市街地マップ等のパンフレット等を製作、各所へ配布し誘客へ繋げる。

(5) 鳥取市観光協会連による広報

協姉妹都市で開催されるイベントやコンベンションのレセプションなどに出向き、鳥取市の魅力を発信する。また、市内の学校への出前講座を通して、地域への郷土芸能の継承を行い協会の価値向上に貢献する。

(6) 他団体との広報連携

鳥取県観光連盟や麒麟のまち観光局等と連携した広報を戦略的に行い、誘客促進に取り組む。

【観光案内】

目的と概要

鳥取市の玄関口としての顔を持つ鳥取駅構内の鳥取市観光案内所は、観光客の利便性向上のため観光案内専門職員による充実した対面案内を行う。また、鳥取市ふるさと物産館においても来客の求めに応じた対面案内を行う。案内にあたっては、観光商品、物産等、協会の取組みを広報し、観光振興に寄与する。

観光案内の充実を図るため、観光案内所と鳥取市ふるさと物産館のほかに、観光施設などとの連携により案内機能の拡大を目指す。インバウンドの対応として鳥取市国際観光客サポートセンターとの連携を具体的に進める。

(1) 観光案内所やふるさと物産館での観光案内・情報提供

来客への観光案内や市内の宿泊施設の紹介を行う。

鳥取駅関係者との意見交換の場で、観光客からの多くの意見を情報共有し、問題を解決するとともに、利便性の向上を図る。

(2) 観光案内所でのレンタサイクル・ベビーカー貸出広報

鳥取駅自転車駐車で普通自転車および電動アシスト自転車の貸出を行っているレンタサイクルを紹介する。

鳥取市が行っているベビーカーの貸出に協力する。

(3) 観光案内所での各種チケット販売

ループ麒麟獅子バス一日乗車券、鳥取砂丘砂の美術館入館券等の販売を行う。

(4) 観光案内機能の拡大に向けた取り組み

観光案内機能の拡大を目指すため、市内の観光案内の全体像を把握した上で、砂の美術館や道の駅等の観光施設と関係者で意見交換等を行い、観光案内機能を拡大・充実に取り組む。

【物産振興】

目的と概要

地元物産振興に寄与する。

従来の取組に加えて、他団体等とより積極的に連携し、地元物産の販路開拓に取り組む。

(1) 地元物産の販路開拓に向けた取組

イズミゆめタウンでの販売や、鳥取県物産協会が実施する県外物産展等での販売支援を活用し、地元物産の販路開拓に取り組む。イズミゆめタウンでの販売の後に、販売の継続性及び、その他の県外スーパー等への販路開拓の可能性を検証する。

(2) 物産情報の発信・販売

県内外のイベント、市内コンベンション等に出店し、地元物産のPRや販売を行う。

さらに、地元物産品の魅力紹介及び販売促進のため、ふるさと物産館にて各種催事やイベント等を積極的に実施すると共に、SNS、インターネットショップ等でPRを行う。

このほか、物産会員と連携して物産館の公式SNSを活用した割引クーポンの発行を行い、地元物産の情報発信や販売促進を図る。

(3) 物産事業者拡大に向けた取組

物産会員の負担軽減、及び新規会員の加入促進のため物産登録費5,000円を廃止する。

(4) 「第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピック）」での物産振興に向けた取組

令和6年度に開催される「第36回全国健康福祉祭とっとり大会」の鳥取市実行委員会に参加し、地元物産のPR及び販売機会創出に向けた提案を行う。

【とっとり市】

目的と概要

麒麟のまち圏域の物産振興に寄与する。

出店者や利用者の拡大を図るため、店舗への支援や情報発信の充実にに向けた取組を行う。

(1) とっとり市の運営

インターネットショップ「とっとり市」の管理・運営を適切に行い、お客様対応や出店者サポートの充実に取り組む。

(2) 店舗支援の取り組み

ショップページ等の作成サポートや、商品ページ及び広報の充実にに向けたアドバイス支援を行う。

(3) 販売促進の取り組み

店舗の魅力を掘り起こして紹介し、より生産者の顔が見えるサイト作りを行い、新たなファンの獲得やリピーターの確保に繋げる。

全国的にも数少ない市の公式ショッピングモールである強みを生かし、地域の自治体や他団体等と連携した情報発信を行い、サイトの信頼性を高め、利用者拡大を図る。

(4) とっとり市の発展に向けた取り組み

社会情勢の変化や、出店店舗の意向を踏まえ、鳥取市と共に、今後のとっとり市の事業展開や運営の在り方について検討を行う。

【組織運営】

目的と概要

職員のスキルアップや部門間の連携、理事の協会運営への参画を増やす取り組みを行う。また、協会価値向上のため、お客様の満足度を更に高めるため、それを実現する職員の満足度の向上に努める。

会員、理事、職員を繋ぎ、より大きな力を生むことを意識した組織運営を行う。

(1) 研修計画による職員のスキルアップ

職員の職種及び階層に応じた研修計画を策定し、効果的な研修を実施することで、職員のスキルアップを目指す。

(2) 労働環境の整備

同一労働、同一賃金の観点から嘱託職員の待遇改善を図るとともに、正職員と嘱託職員の業務内容の見直しを行う。

さらに、人事評価を待遇改善に組み込み、優秀な人材の確保に努める。

また、事務局の連携を強化するため、組織の見直しを行う。

(3) 会員研修の実施

協会会員に向けて、鳥取県や鳥取市の取り組みのほか、麒麟のまち観光局等に、観光客の動向等を説明してもらう機会を設ける。

(4) 協会運営を協会会員に周知

協会組織ビジョン及びミッションに基づいた事業の進捗状況の報告や中間期末評価の実施方法を説明する。

事業価値向上の取り組みについて、会員の意見を反映する工夫を行う。

(5) 組織力の強化

中期的に協会を支える人材を育成する。

理事会で委員会の役割を明確化し、活発な委員会を行うことで事業価値向上に努める。